

第 38 回入学式式辞

- 神奈川県立深沢高等学校 38 期生の皆さん、入学おめでとうございます。また、新入生の保護者の皆様におかれましても、お子様のご入学、誠におめでとうございます。深沢高等学校校長の田中和也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 昨年 10 月に発表された県立高校改革第 3 期実施計画の中で、本校は藤沢清流高校との再編・統合対象校となり、さらに本校は非活用校であることが伝えられました。新校は単位制普通科として令和 9 年度にスタートする予定であり、深沢高校は令和 8 年度をもって完校となります。生徒募集も来年度入学する 39 期生をもって終了となり、昨年の学校説明会等でもお伝えしたとおり、皆さんが 3 年生になったときには、新たな新入生を迎えることはなく、3 年・2 年の二つの学年で教育活動を展開することになります。
- 突然の発表だったため、私たち職員も在校生も大きな衝撃を受けましたし、同窓会・卒業生の方々から完校を惜しむ声がたくさん寄せられました。母校がなくなってしまうのだから当然です。そしてその発表以来、私たちが心配していたことは 38 期生の生徒募集で志願者が少なくなり、定員割れが生じてしまうことでした。
- しかし、学校説明会での部活動生徒たちのウェルカム発表や、生徒会役員生徒による学校生活の説明、教職員の説明にこめられた熱い思いが伝わったのだと思うのですが、実際には募集人数を超える志願者数となり、予定通り無事に 238 名の新入生を迎えることができました。
- 私自身、何よりもこのことが嬉しく、皆さんにも保護者の皆様にも、どうぞ深沢を志願してくれた、選んでくれたと心から申し上げたいし、深沢高校の生徒となったからには決して後悔はさせません、という気持ちでいます。

- ご承知のとおり、深沢高校の生徒たちはとても落ち着いており、ある意味おとなし過ぎるのではと心配になるくらいです。それでも体育祭などの行事にはいっさい手を抜かず、コロナ禍の制約の中でも工夫を凝らして素晴らしいものに仕上げてくれるのが深高生の特徴でしょうか。皆さんも、先輩たちからいろいろなことを継承し、お互いの個性を尊重し合い、安心して自分らしく深沢での学校生活を始めてください。
- 言うまでもなく、これから始まる高校生活の主役は、あなたたち一人ひとりです。学習はもちろん、学校行事や部活動など、自分がやりたいこと、挑戦したいことに主体的に取り組んでもらいたいし、勇気を出して一歩前に足を踏み出してもらいたいと思っています。
- ただ、覚えておいてほしいことは、自分自身が高校生活の主役であると同時に、周囲にいる友人や先輩たちの脇役でもあるということです。立派に主役を張るとともに、上手に脇役を演じてください。あるいはそれを両立させるための方法を、高校生活3年間の中で身につけていってください。
- 昨年度から導入された学習指導要領では、皆さんと先生が單元ごとに学びの到達点、すなわちゴールイメージを共有し、そのために何をするのか、何が必要なのか、先生の指導や助言を踏まえ、自らも学習の自己調整を図りつつ学習活動を展開していくこととなります。さらに自ら課題を見つけ、その課題を解決する方法を見出せるよう、探究する力を養っていきます。
- 本校には、今申し上げたような力を皆さんが身につけられるよう、多くの時間をかけて準備をし、寄り添ってくれる、温かく面倒見のよい先生方がたくさんいます。先生方を信頼し、安心して授業や部活動に臨んでください。
- 3年後、皆さんが深沢高校で学んで本当によかった、卒業したくない、そう考えられるよう、皆さんの高校生活が充実することを願って、私からのお祝いの言葉といたします。